

今週のメニュー

■ [トピックス](#)

「エコチルまつりバーチャル 2021」に出展

■ [随想](#)

SDGs を自分ごとにするためには？

第1回 SDGs について知ってみよう！歴史・背景と目標設定過程

上智大学地球環境学研究科教授 織 朱實

■ [編集後記](#)■ [トピックス](#)

◇ 「エコチルまつりバーチャル 2021」に出展

2020年より新型コロナウイルス感染拡大に伴い、人が集まるリアルイベントの開催が困難な状態が続いています。このような中、子どもたちが自宅に居ながら環境やSDGsを学べる機会を提供するため、エコチルまつり実行委員会（株）アドバコムが主催する「[エコチルまつりバーチャル 2021](#)」が8月7日(土)～8月20日(金)、オンラインで開催されています。そこに塩ビ工業・環境協会(VEC)は今回初めて参加しています。

「エコチル（子ども環境情報誌）」とは、「エコロジーチルドレン」の造語で、地球環境保全に取り組む子ども達を育むとともに、学校や家庭でのエコライフ推進を目的としたメディアで、(株)アドバコムが運営しています。「エコチル」は2006年に創刊され、今年15周年を迎えました。現在、東京23区（東京版）307,500部、横浜市内18区（横浜版）178,400部、北海道内（北海道版）の公立小学校299,700部、札幌市内中学校、高等学校（札幌市立高校のみ）53,900部に毎月無料配布されています。



「エコチルまつりバーチャル 2021」は、インターネット環境さえあれば、自宅に居ながら環境やSDGsについて親子で楽しく学べると共に、夏休みの自由研究の取り組みにも役立ちます。参加費用は無料で、来場者はパソコンやスマートフォンから参加できます。イベントの内容は、「バーチャル展示会」「オンラインワークショップ・体験教室」「ライブ配信ステージ」などから構成されています。



VECのブースの様子(エコチルまつりバーチャル 2021 より)

VECは、「バーチャル展示会」の20個あるブースのうちNo.6のブースに出展しています※1)。入口ではイメージキャラクターのゴイスー博士が案内します。正面のアイコンから、「塩ビの新発見!？」の動画が試聴できます。塩ビ（ポリ塩化ビニル）を用いた製品は、身の回り、家の中、街の中などあちこちで見ることが

できます。塩ビは加工がしやすく、丈夫で、長持ちで、リサイクル性に優れているので、持続可能な社会づくりに貢献する素材であることを紹介しています。エコチルまつりオンラインサイトから是非ご覧ください。

(<https://www.ecochil.net/festival2021/>)

※1) バーチャル展示会出展者：01 子ども環境情報紙 エコチル、02 北海道環境生活部環境局、03 さっぽろ「エコライフレポート」（札幌市）、04(公財)さっぽろ青少年女性活動協会、05 日本 CCS 調査(株)、06 塩ビ工業・環境協会、07HBC 北海道放送(株)、08 野外博物館北海道開拓の村、09(株)北翔、10 学校法人田中学園立命館慶祥小学校、11 水素情報館東京スイソミル((公財)東京都環境公社)、12 東洋製罐グループホールディングス(株)、13 日本環境協会子どもエコクラブ、14 横浜市環境創造局、15(一社)イエローピンプロジェクト、16 環境省 COOL CHOICE、17 オロナミンCドリンク、18 タミヤロボットスクール(株)ナチュラルスタイル、19 カンコー学生服、20 エコチル自由研究応援グッズ。

■ 随想

◇SDGs を自分ごとにするためには？

第1回 SDGs について知ってみよう！歴史・背景と目標設定過程

上智大学地球環境学研究科教授 織 朱實

1. SDGs とはなに？その歴史と背景

最近、図1のようなカラフルなアイコンをよく目にするな、と感じている人は多いと思います。このアイコンは、2015年9月に国連サミットで世界150か国以上の賛同を得て採択された「持続可能な開発目標」いわゆるSDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)の17の目標です。SDGsという言葉だけは、よく耳にするものの、「これなんて読むの？」あるいは「17の目標はわかるけど、途上国の問題だよな？日本には関係ないのでは？」とと思っている人は多いと思います。この連載では、SDGsの本質が何か、行政・企業・市民それぞれの立場でSDGsにどのように関われるかを、色々な角度から考えてみたいと思います。日本では、SDGs(エス・ディ・ジー・ズ)で流通していますが、欧州などではGlobal Goals(グローバル・ゴールズ)の名称のほうが通りが良いようです。SDGsは、世界が抱えている様々な問題を解決し、世界中の人が持続可能な未来を享受できるように世界を変えるための17の目標、その下での具

体的な 169 のターゲットを掲げています。2015 年 9 月の採択サミットには、ローマ法王、オバマ大統領、習近平国家主席、日本からは安倍総理も参加し、世界中が注目する中での採択でした。



図 1. SDGs のアイコン



出典：外務省資料

2. SDGs が採択されるまでの経緯

SDGs の中で「持続可能性（将来世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たす）」は大変大切なコンセプトです。この「持続可能性」概念は、1987 年ブルントラント委員会の「我々の共通の未来（Our Common Future）」の中で初めて示されたものです。国際的に持続可能な開発を達成するために、1992 年には「国連環境開発会議」（地球サミット）が、2002 年には「持続可能な開発に関する世界首脳会議」、2010 年には「MDGs サミット」が開催されました。さらに、2012 年「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」で SDGs 策定にむけての始動が開始されました。この時に、30 か国の参加者からなる「SDGs に関するオープン・ワーキング・グループ（OWG）」が立ち上げられ、SDGs 策定のプロセスがスタートしたのです。



出典：UN Photo Cia Pak

3. MDGs と SDGs の違い：策定過程

SDGs をよりよく理解するためには、SDGs に先駆け世界共通のゴールを提示したミレニアム開発目標（Millennium Development Goals: MDGs）と SDGs との違いを抑えておく必要があります。MDGs は、2015 年を達成目標とした 8 つの目標を掲げていました。具体的には、①極度の貧困と飢餓の撲滅、②普遍的初等教育の達成、③ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上、④幼児死亡率の削減、⑤妊産婦の健康の改善、⑥HIV／エイズ、マラリアその他疾病の蔓延防止、⑦環境の持続可能性の確保、⑧開発のためのグローバル・パートナーシップの推進、です。MDGs のもとで、多くの支援プログラムが実施され歴史上もっとも成功した貧困撲滅運動と評価されています。MDGs も SDGs も世界全体で達成すべき共通の目標を設定するという点では共通していますが、MDGs は開発途上国の課題が中心であり、先進国はいかに支援するのかという位置づけでした。しかし、先進国の中にも格差問題や都市の安全など様々な課題があり、先進国も途上国も一緒に解決しなければならない課題が世界には多数あります。そこで、SDGs では 8 つの目標を 17 に拡大し、さらに MDGs においては 1 つだけであった環境関連の目標も増やしました。

また、MDGsが政府主導のプログラムにより達成される目標であったのに対して、SDGsは、政府だけではなく、企業やNGO等の民間が主体的に取り組まなければ解決できない目標も多く含まれています。そのため、より多様なステークホルダーの取組と協力が必要とされました。SDGs策定においても、様々なステークホルダーの意見をきき、透明性を確保しながら、意見交換が行われるというマルチステークホルダープロセスがとられました。5つの地域の30の参加者で構成されるオープン・ワーキング・グループ (OWG) が2013年1月に立ち上げられ、このOWGを中心に今までの国際会議や国政的プログラムで培われてきた多様なネットワークを活用しながらマルチステークホルダーによる意見聴取が行われました。リオサミットで活用された9つのグループ(女性、子供若者、少数民族、NGO、地方自治体、労働者・労働団体、企業・産業団体、科学技術コミュニティ、農業者)によるネットワークです3年間意見の集約が行われ、いくつかの案を経て、現在の17の目標に集約されました。多様なステークホルダーの意見を聴取することは、様々な価値観、関心事があるということです。これらを17に絞り込むというのは大変な作業だったと思います。そのため、SDGsについては、「内容が広すぎる」「焦点がぼやけている」などのコメントも策定当初からありました。SDGs策定過程においては、市民への情報提供も、国連のWeb、TVやTwitterやFacebookなどのSNSも活用しながら積極的に行われていたのも大きな特徴です。

今回は、こうしたSDGs策定の背景を踏まえながら、SDGsの本質とは何か?について考えていきたいと思います。SDGsにどう取り組んでいけばいいのか、まだよく分からないという企業や自治体、その他団体は多くあるかと思います。自分たちの業務と17の目標を紐づけ、関連アイコンを貼りつけ、それでSDGsへの取組は終わり、という団体も多いかと思います。それでは、せっかくのSDGsが、施策や企業活動に十分に生かされたとはいえません。本質や特徴を理解したうえで、自分たちなりの取組が展開できるように次回では検討したいと思います。

SDGsについての歴史、背景についてさらに詳しく知りたい方は、以下の国連、国際連合広報センターのWEB情報がお役に立つと思います。

<https://SDGs.un.org/>

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

筆者紹介

上智大学大学院地球環境学研究科教授。専門は環境法。廃棄物や化学物質とリスクコミュニケーションなど環境全般を対象とした研究を行っている。最近、SDGsワークショップやカードゲームのファシリテータなども積極的に行っている。



■ 編集後記

PVC Award 2021（テーマ：生活を豊かにする PVC 製品）の公募を行っています。PVC（素材）の持つ優れた特長を活かすと共に、様々な機能を付与して、私たちの生活の利便性向上や、環境配慮・リサイクル・安全・防災など社会のニーズに応える新しい製品を募集しています。応募期間は2021年7月1日～9月30日。大賞には賞金100万円を用意しています。販売開始5年以内（2016年7月1日以降上市）のPVC製品（軟質・硬質全塩ビ製品、他の材料との複合品）、及び来年2022年12月までに商品化予定の製品が対象です。応募用紙に写真を貼付し作品の特徴を記入して、奮ってご応募ください。

詳しくは公式ホームページ（<http://www.pvc-award.com/>）をご覧ください。

（PVC Award 事務局）

VECは、2021年8月18日(水)、19日(木)にオンラインで開催される「こども霞が関見学デー」の中で文部科学省のプログラムに参加します。VECでは、「塩ビの新発見!?!」という動画にアクセスして、塩ビが身近な存在で私たちの暮らしを支え、そして地球環境にやさしい素材であることを紹介します。

https://www.mext.go.jp/content/210716-mxt_chisui02-000127490_1.pdf

■ 関連リンク

- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp
